



いわき市では、四倉地区の市街地再生に 取り組んでいます!



四倉地区は、人口減少等により空き地や空き店舗が増加し、四倉小・中学校や公民館など多くの公共施設は、老朽化が著しく、津波浸水想定区域に立地しており、また、JR四ツ倉駅西側のセメント工場跡地は、遊休地化しているなど、地区全体を俯瞰した土地利用の検討が必要となっています。

これらの状況を踏まえて、市では、市街地の再生に向けて、地域や企業、関係団体の皆様と連携しながら、様々な取組みを進めています。



"第1回 四倉地区まちづくり検討会"を 開催しました!



- 第1回 四倉地区まちづくり検討会 (四倉町商工会館2階 大会議室)
- 〇 令和2年8月28日(金)18:30~
- 〇 テーマ「四倉地区の課題解決に向けた 優先的な取組みの検討」

四倉地区の市街地再生に向けた取組みについて、観光 や商業、教育、文化等の各種団体の皆様と幅広く議論す るため、検討会を開催しました。

第1回は、行政の担当職員も含め、計37名で意見交換 を行いました。



写真:ワークショップの様子①





たくさんの御意見、ありがとうございました



ワークショップ形式で、日ごろ感じる四倉地区の課題や、解決するための優先的な取組み は何かなどについて議論しました。



写真:ワークショップの様子②

【A班】

- まちなか商店街の活性化が必要。
- 旧住友大阪セメント跡地を利活用して、住んでいる人が 楽しめるような新たな魅力拠点づくりが必要。
- 高齢者と子どもが交流でき、且つ楽しめるような空間が 必要。
- 歩いて生活できるまちが望ましい。

など

【B班】

- JR西側の道路は狭隘で老朽 化が目立つため、道路整備の 必要性がある。
- 現小中学校が津波浸水区域内 にあることから、JR西側に 移転する必要がある。もし移 転するなら、小中一貫校とし て整備してみてはどうか。
- 公共施設も老朽化しているこ とから、JR西側に集約する のはどうか。



写真:ワークショップでの意見

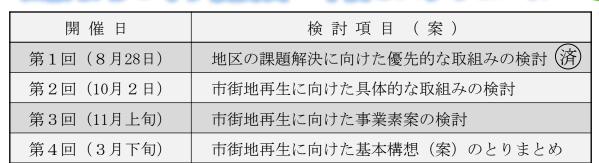
【C班】

- 小中学校の統廃合の検討が必要である。
- 旧住友大阪セメント跡地を有効活用して、新たな魅力拠点づくりが必要。
- JR西側の道路は狭隘で老朽化が目立つため、整備の検討が必要。
- JR西側に新たな拠点をつくる際は、通学時の安全性の確保が必要

など

次回のまちづくり検討会では、皆様からいただきました御意見 をもとに、具体的な取組みなどについて、議論していきたいと 考えています!







問合せ先 いわき市 都市建設部 都市計画課 都市再生係 0246-22-7513 (直通) 話 E-mail toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

